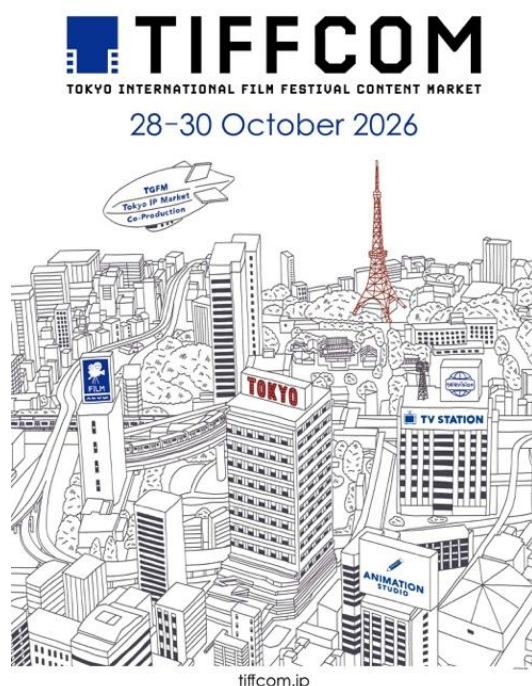


「TIFFCOM 2026」10/28～30 開催！ 日本のコンテンツを世界へーIP、アニメ、国際共同製作、AI・テクノロジーの最前線が集結！

東京国際映画祭併設のコンテンツマーケットで、日本 IP の映像化を促す「Tokyo IP Market」、24 国・地域から長編映画企画が集う「Tokyo Gap-Financing Market」も開催



東京国際映画祭（TIFF）併設のアジアを代表するコンテンツマーケット「TIFFCOM 2026」が、2026 年 10 月 28 日（水）から 30 日（金）まで、東京都立産業貿易センター浜松町館にて開催されます。

23 回目となる今年も、映画、TV、アニメなど多彩なコンテンツホルダーと、有力バイヤー・プロデューサー、業界関係者が世界各国から一堂に会します。業界最新情報を発信するカンファレンス、企画・IP マーケット、ピッチ、ネットワーキングなどを通して、国際共同製作やコンテンツビジネスの新たな機会を創出します。2025 年は、総参加者数 4,610 人、海外からの参加者数 1,905 人、参加国・地域数 46、商談件数 7,700 件超を記録しました。

今年は AI プロダクトやデータアナリティクスなどテクノロジー関連の出展も増加。日本 IP の海外展開、国際共同製作、アニメーションをはじめ、テクノロジーとストーリーテリング、最新の市場データなど、世界のコンテンツビジネスの現在とこれからを捉えるプログラムを展開します。

本日 10 月 1 日（木）に行われた「第 39 回東京国際映画祭（TIFF）ラインナップ発表記者会見」には、TIFFCOM の池田香織事務局長が登壇し、開催まで 1 ヶ月を切った「TIFFCOM 2026」のハイライトを紹介しました。

国際共同製作と資金調達をサポートする企画マーケット「Tokyo Gap-Financing Market（TGFM）」には、今年の TIFF コンペティション部門に選出され、同日の会見に登壇した山本英監督の最新企画を含む、世界 24 の国・地域から 24 の長編映画企画（実写・アニメーション）が集結。「Tokyo IP Market（TIPM）」では、日本のマンガ・小説の映像化権や映像作品のリメイク権を海外の有力プロデューサーへ紹介します。今年は両マーケットとも、商談に加えてピッチイベントをさらに強化します。会見では、こうした今年の注目企画を紹介し、業界関係者へ「ぜひご来場ください」と参加を呼びかけました。

また TIFFCOM は今年 5 月、カンヌ国際映画祭併設マーケット「マルシェ・デュ・フィルム」と共同で「Japan IP Market」を開催。

日本の有力 IP ホルダーと世界の映画プロデューサーを結び、日本 IP の海外映像化やリメイクに向けた商談の場を創出しました。こうした取り組みを受け、「TIFFCOM 2026」では、マルシェ・デュ・フィルム関係者が登壇し、今年のカヌヌにおける日本の「カントリ・オブ・オーナー」の成果と、日本 IP の世界との共創について語るカンファレンスの開催も決定しました。

開催概要

名称： TIFFCOM 2026

会期： 2026 年 10 月 28 日（水）～30 日（金）

会場： 東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都港区海岸 1-7-1）

主催： 経済産業省、総務省、公益財団法人ユニジャパン

TIFFCOM は、第 39 回東京国際映画祭（TIFF）併設のビジネス・コンテンツマーケットです。第 39 回東京国際映画祭は 2026 年 10 月 26 日（月）～11 月 4 日（水）に開催されます。

注目トピックス

● カンファレンス | AI、IP、アニメなど大型カンファレンスが続々決定

国内外のキーパーソンを迎え、コンテンツ業界の最新動向を発信するカンファレンスを今年も多数開催します。

注目のキーノート「テクノロジーが拓く、ストーリーテリングの未来」では、『アベンジャーズ』シリーズの AGBO から、ビジネスリーダーであるクリス・ブレアトン氏と、テクノロジーリーダーのドミニク・ヒューズ氏が登壇。新たなテクノロジーがどのように「クリエイティブなパートナー」として機能し、アーティストに力を与え、ストーリーテリングの可能性を広げるのか、そして映画、テレビ、ゲーム、インタラクティブ・エンターテインメントの次世代の展望を語ります。

さらに、日本 IP の海外展開、アニメ産業の最新動向、国際共同製作、データから見る日本コンテンツの海外戦略など、様々なテーマを取り上げます。

● アニメ | スタジオ出展から市場データ、国際共同製作まで——世界が注目する日本アニメの「今」が集結

世界的に存在感を高める日本アニメも、「TIFFCOM 2026」の重要なテーマの一つです。

カンファレンスでは、一般社団法人日本動画協会による Special Session「日本のアニメの海外展開 ～2025 年の日本のアニメ海外売上速報と、2 つのスタジオの海外戦略～」を開催。第 1 部では 2025 年のアニメ産業市場規模の速報値を発表し、第 2 部では日本アニメーションと Production I.G がそれぞれの海外戦略を紹介します。

さらに、「日本アニメの新たなエコシステム：国際共同製作における『資金と座組』の最前線」をテーマにした「ANIME CO-PRODUCTION CONFERENCE」も開催。国際共同製作における資金調達や座組のあり方について、国内外の業界関係者が議論します。

このほか、TOKYO ANIME NEXT 主催の「アニメーション特別シンポジウム ～2027 年 新たなアニメアワードのスタートに向けて～」も開催。日本のアニメーション業界関係者が主導して国際的なアワードを設立する意義について議論します。

スタジオ出展から最新の市場データ、海外戦略、国際共同製作、そして日本アニメの国際的なブランディングまで、多角的なプログラムを通して、日本アニメの「今」とこれからを発信します。

● IP 映像化 | 日本のコンテンツを世界のスクリーンへ「Tokyo IP Market」

世界的に高まる日本 IP へのニーズに応え、マンガ・小説などの映像化権から名作のリメイク権、ゲームまで、日本の多彩な IP を世界の映像プロデューサーにつなぐ「Tokyo IP Market: Adaptation & Remake (TIPM)」を開催します。

2025 年にスタートした TIPM は、2026 年 5 月にはカヌヌ国際映画祭併設マーケット「マルシェ・デュ・フィルム」に「Japan IP Market」として進出。今年の TIFFCOM では参加企業・業種をさらに多様化し、世界の映像プロデューサーとの新たなコネクション創出を目指します。

今年は、アミューズクリエイティブスタジオ、コムスマ、KADOKAWA、日本文芸社、日本アニメーション、松竹、主婦と生活社、スクウェア・エニックス、タカラトミー、東映の 10 社が参加。個別商談に加え、オープンピッチなども実施します。

● 世界 24 の国・地域から 24 企画が集結「Tokyo Gap-Financing Market」

資金調達段階にある長編映画企画と、世界の映画・映像業界のエキスパートをつなぎ、企画成立と予算達成をサポートする「Tokyo Gap-Financing Market (TGFM)」を開催します。

第 7 回となる今年は、アジア、欧州、南米、北米の 24 の国・地域から 24 企画を選出。今年の TIFF コンペティション部門に選出された山本英監督の最新企画をはじめ、日本発 8 企画、アニメーション 5 企画などが集結します。さらに、カナダのファンタジア国際映画祭が主催する国際ジャンル映画共同製作マーケット「Frontières」と新たに提携。IMAGICA GROUP の協力による

初のオープンピッチイベントも10月28日に開催し、Frontières Showcaseの5企画を含む計10企画がピッチングを行います。

これまでのTGFM参加企画からも世界で活躍する作品が誕生しており、『The Violinist』は2026年アヌシー国際アニメーション映画祭の長編部門クリスタル賞を受賞。『Titanic Ocean／タイタニック・オーシャン』は2026年カンヌ国際映画祭「ある視点」部門、『9 Temples to Heaven』『Death Has No Master』は同映画祭の監督週間に選出されるなど、国際映画祭で成果を上げています。

世界のコンテンツビジネスの最前線を語る、注目カンファレンス

今年も、ハリウッド、日本、アジアなど国内外のキーパーソンが登壇。テクノロジー、IP、アニメ、国際共同製作、市場データなど、今後のコンテンツビジネスを展望するカンファレンスを開催します。

● Keynote | テクノロジーが拓く、ストーリーテリングの未来

10月29日（木）11:30～12:30

AGBO 共同経営者のクリス・ブレアトン氏と最高科学責任者（CSO）のドミニク・ヒューズ氏が登壇。新たなテクノロジーをクリエイター主導でどのように活用し、ストーリーテリングの可能性を広げていくのか、次世代のコンテンツ表現を展望します。

主催：モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）、一般社団法人日本映画製作者連盟、公益財団法人ユニジャパン
【スピーカー】



クリス・ブレアトン
AGBO 共同経営者

AGBO 共同経営者。共同創設者らとともに AGBO を率い、メディア・エンターテインメント業界で 30 年以上にわたり戦略、ディールメイキング、事業運営などに携わる。



ドミニク・ヒューズ
AGBO 最高科学責任者（CSO）

AGBO 最高科学責任者（CSO）。アルゴリズム、機械学習、AI の分野を牽引する専門家。

【モデレーター】

ナーマン・ラマチャンドラン（Variety アジア担当エディター）

● Special Session | 日本のアニメの海外展開 ～2025 年の日本のアニメ海外売上速報と、2 つのスタジオの海外戦略～

10月30日（金）13:30～15:00

2025 年のアニメ産業市場規模の国内・海外速報値を発表するとともに、日本アニメーションと Production I.G の海外戦略から、日本アニメのグローバル展開の最前線を紹介します。

主催：一般社団法人日本動画協会

【オープニングスピーチ】

石川和子（一般社団法人日本動画協会 理事長、日本アニメーション株式会社 代表取締役社長）

【モデレーター】

小野打恵（株式会社ヒューマンメディア 代表取締役社長、一般社団法人日本動画協会 人材育成委員会 副委員長）

【スピーカー】

長谷川雅弘（アニメ産業レポート 編集統括、専修大学 ネットワーク情報学部 非常勤講師）

平塚仁美（日本アニメーション株式会社 取締役 国際部部长）

上田陽子（株式会社プロダクション・アイジー 取締役（管理部・IP&コミュニケーション事業本部担当））

● Special Session | 日本発 IP フロンティア 2026！ ～放送の先へ～

10月29日（木）13:00～14:15

「メディアと国境を越えた新ビジネスモデル」をテーマに、放送の枠を越えて世界市場へ挑戦する取り組みを紹介。テレビ東京、株式会社闇、フジテレビ、TSK さんいん中央テレビ、南海放送、中京テレビ、北海道テレビ放送が参加します。

主催：一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ）

【スピーカー】

大森時生（株式会社テレビ東京 制作局 プロデューサー）

頓花聖太郎（株式会社闇 創業者/代表取締役）

青木僚平（株式会社フジテレビジョン ライブエンタテインメント局副部長）

川中優（山陰中央テレビジョン放送株式会社 コンテンツプロデュース部 担当部長）

楠目厚人（南海放送株式会社、テレビディレクター）

横井一輝（中京テレビ放送株式会社、担当副部長）

阿久津友紀（北海道テレビ放送株式会社 ネットデジタル事業部長 デジタル編集長）

【MC】

一木郁夫（一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ） 事務局長）

【モデレーター】

原園明彦（一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ） エグゼクティブディレクター）

<10月1日発表の注目カンファレンス>

● カントリー・オブ・オナーのその先へ ―日本と世界が築く新たなパートナーシップ―

10月29日（木）15:45～16:45

2026年、カンヌのマルシェ・デュ・フィルムで日本が「カントリー・オブ・オナー」に選定されたことを受け、その先の日本と世界の新たなパートナーシップを考えます。

主催：独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）

【スピーカー】

土屋貴司（独立行政法人日本貿易振興機構 デジタルマーケティング部長）

椎名保（公益財団法人ユニジャパン 特別顧問／TIFFCOM CEO）

アレクサンドラ・ザハルチェンコ（マルシェ・デュ・フィルム Head of Industry Programs）

【モデレーター】

中山淳雄（エンタメ社会学者／Re entertainment 代表取締役）

【閉会挨拶】

梶直弘（経済産業省 文化創造産業課長）

● データで読み解く日本のコンテンツの現在地と海外戦略 ～映像・アニメ、キャラクターIP、音楽の最新動向～

10月29日（木）13:30～14:30

映像・アニメ、キャラクターIP、音楽などのデータから、日本コンテンツの現在地と海外展開の可能性を読み解きます。

主催：ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社

【スピーカー】

岡崎早苗（ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社 Senior Manager, Entertainment, Lifestyle）

平島綾子（株式会社日経 BP 日経エンタテインメント！編集 編集委員）

● カンファレンス ラインナップ

このほかにも各分野のカンファレンスを開催。

「日本テレビが挑む グローバル・コンテンツ企業への歩み」、「TBS グローバル戦略の最前線 ～ハリウッド・Legendary 社との協業から『SASUKE』の世界的展開まで～」、「Linmon 2026-2027 コンテンツ・ショーケース」、「台湾の独創力が出会う、プロジェクト・ショーケース」、「日本アニメの新たなエコシステム：国際共同製作における『資金と座組』の最前線」などを予定しています。

AI	IP	Animation	Co-Production	Japanese TV	Asian Series & Films	Market Trends	Others
AI 『アベンジャーズ』シリーズのスタジオAGBO経営幹部が語る テクノロジー・AIとストーリーテリング ●[Keynote] テクノロジーが拓く、ストーリーテリングの未来 主催：モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映画製作者連盟、公益財団法人ユニジャパン							
IP ●カントリー・オブ・オーナーのその先へー日本と世界が築く新たなパートナーシップー 主催：独立行政法人日本貿易振興機構							
Animation ●アニメーション特別シンポジウム ～2027年 新たなアニメアワードのスタートに向けて～ 主催：TOKYO ANIME NEXT ●[Special Session] 日本のアニメの海外展開 ～2025年の日本のアニメ海外売上速報と、2つのスタジオの海外戦略～ 主催：一般社団法人日本動画協会							
Co-Production ●日本アニメの新たなエコシステム：国際共同製作における『資金と座組』の最前線 主催：東京都コンテンツ産業海外展開課題解決プログラム「Into Global」							
Japanese TV ●[Special Session] 日本発IPフロンティア2026！～放送の先へ～ 主催：一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ） ●日本テレビが挑むグローバル・コンテンツ企業への歩み 主催：日本テレビ放送網株式会社 ●TBSグローバル戦略の最前線 ～ハリウッド・Legendary社との協業から『SASUKE』の世界的展開まで～ 主催：株式会社TBSホールディングス							
Asian Series & Films ●Linmon 2026-2027 コンテンツ・ショーケース 主催：Linmon Media International Co., Limited. ●台湾の独創力が会おう、プロジェクト・ショーケース 主催：台湾テレビドラマ制作産業連合総会							
Market Trends ●データで読み解く日本のコンテンツの現在地と海外戦略 ～映像・アニメ、キャラクターIP、音楽の最新動向 主催：ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社							

カンファレンスは順次追加発表いたします。最新の開催日時、登壇者、各カンファレンスの詳細は、TIFFCOM 公式サイトをご覧ください。

※10月1日時点の内容です。カンファレンスの追加発表、登壇者追加などは公式サイト、SNS、プレスリリース等にて順次お知らせいたします。

[TIFFCOM 2026 カンファレンス一覧](#)